

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	令和４年度　第２回　嬉野市総合戦略推進委員会		
開催日時	令和５年３月２３日(木)　　１３：３０～１４：３５		
開催場所	嬉野市塩田公民館２階　視聴覚室		
会議の公開の可否	㊦　・　不可　・　一部不可	傍聴者数	０人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員 (敬称略)	戸田順一郎、国上政勝、白濱幸広、西川潤一、大門光	
	事務局	総合戦略推進部長、企画政策課長、副課長、主任	
	その他		
会議の議題	① 委員長あいさつ ② 次年度以降に向けた第２期総合戦略の改訂（見直し等）について ③ その他		
配布資料	① 令和４年度第１回嬉野市総合戦略推進委員会次第 ② 第２期嬉野市総合戦略推進委員会　委員名簿 ③ 【R5.3改訂(案)】第２期嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	1. 【R5.3 改訂(案)】第2期嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について		
内 容	1. 事務局より説明。委員質問・事務局回答、委員の意見等		
審議経過	事務局	（【R5.3 改訂(案)】第2期嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について説明） 国の総合戦略について説明 R4.12月に総合戦略を抜本的に改定。まち・ひと・しごと創生法の改正は伴っていない。国・県の総合戦略を勘案し、市町はできるだけ速やかに改定することとなっているが、嬉野市としては県の改定がまだなので動向を見ながら改定を行いたいと考えている。 今後、DX関連の専門家を委員に入れることとなっているため、本市DX関連の部署と連携し委員の選定を行いたいと考えている。 6P 目 ・ゼロカーボンシティの実現に向けた取組み（項目追加） R5.2.21 ゼロカーボンシティ宣言を行っている。2050年までにゼロカーボンを目指すこととしている。 新庁舎の設計においても環境に配慮しZEB等の取組を行うこととしている。 7P 目 ゼロカーボンシティの説明追加 8P 目 【数値目標】 交流人口【観光客数】目標値1,732千人(R6)(KPI修正) R5.3観光戦略の策定に伴い修正。 観光戦略との整合を図るため、基準値を1,705千人(R1)へ修正する案としているが、基準値が変わることによってこれまでの実績値との比較ができなくなる。 現状H30の1,968千人が基準値であり、目標値との逆転現象が起きてしまうが、観光戦略の考え方として当面はコロナ以前の数値へ戻すことが目標となっている。 H30もコロナ以前ということであれば、基準値は変更せずH30のままとし、目標値は観光戦略と整合をとる形としたい。 8P 目、9P 目 九州新幹線西九州ルート → 西九州新幹線 正式名称へ変更(文言修正)	

事務局	9P 目(1)新幹線を活かしたまちづくりの推進 (具体的な施策) 駅周辺施設整備および(文言削除) 賑わいづくり推進 → 賑わいづくり<u>の</u>推進(文言追加) 新幹線開業 → 関西、中国地方(文言修正) 開業前後の(文言削除) 関連イベント開催 → 関連イベント<u>の</u>開催(文言追加) 登録・開設を目指した取組み → 機能充実(文言修正) 10P 目(2)観光まちづくりの推進・国際交流活動の推進 観光戦略の基本方針に合わせた形で全体的に修正をかけている。 【重要業績評価指標(KPI)】 宿泊観光客数 目標値 572 千人/年(R6) (KPI 修正) 観光戦略に合わせ修正。資料は 573 となっているが、端数処理の関係で 572 に訂正をお願いしたい。基準値は変更しない。 【重要業績評価指標(KPI)】 外国人観光客数 目標値 120 千人/年(R6) (KPI 修正) 宿泊観光客数と同じく基準値は変更しない。 (具体的な施策) 観光戦略の基本施策を基に修正。 各種地域資源を活用した関係団体等との連携による国内外に向けた観光プロモーション → ターゲットやニーズを精査した顧客目線のプロモーションや情報の伝達(項目修正) 「嬉野版 DM0」によるブランドづくり・マーケティングなど一体的な観光地域づくりの推進 → 富裕者層・インバウンド向け高付加価値化商品の造成(項目修正) 観光情報の発信強化 → 観光情報の<u>ワンストップ化</u>(項目修正) 温泉文化等を通じた国際交流の推進(項目削除) 観光戦略基本施策内に関連項目の記載がないため。 市民の地域経済循環の促進を図る体制構築(項目追加) 嬉野の自然環境やライフスタイル(暮らし観光)を活かした滞在型メニューの創出(項目追加) 11P 目(3)移住・定住したいまちの推進 【重要業績評価指数(KPI)】 市・県が支援した移住者数 目標値 750 人(KPI 修正) R3 までの実績 374 人であり、目標を達成しているため上方修正。
-----	---

	事務局	(具体的な施策) 「お試し移住制度」の導入など移住希望者への相談・支援体制の拡充 → 「お試し移住制度」利用者等への相談・移住体験ツアーなどの支援体制の拡充(項目修正) 令和4年度より本格的に「お試し移住制度」を開始し、変更前の事業目標を達成した。更に事業を進めるため具体的な施策の変更・拡充を行う。 17P 目(1)企業誘致ビルを活用した新たな雇用の創出 開業予定の九州新幹線西九州ルート嬉野温泉(仮称) → 2022年9月23日開業の西九州新幹線嬉野温泉 正式名称に変更。 18P 目(2)地場産業を支える企業支援・起業支援の推進 (具体的な施策) 新商品・新サービス開発及び販売に対する支援(項目追加) 令和5年度より「経営革新計画」の認定を受けた企業支援を行う事業を展開するため。 隙間時間を活用した就労希望者と企業等とのマッチング支援(項目追加) 令和3年度より武雄市と連携し、雇用創出・スタートアップ支援事業を展開し、労働者の所得向上と企業の人手不足解消を支援するため。 19P 目(3)魅力ある地域商工業の創造 九州新幹線西九州ルート → 西九州新幹線(文言修正) 正式名称へ変更。 【重要業績評価指標(KPI)】 観光消費額 目標値 13,650 百万円/年(KPI 修正) 観光戦略策定に伴う修正。基準値は変更しない。 (具体的な施策) ポイントカードを活用した地域内消費の促進(項目追加) 地域内消費の促進、経済循環を目的とし、令和3年度より「うれしかーど」を活用した事業を展開しているため。 地場産品をはじめとする地域資源を活用した商品の生産から販売までを一貫して行うシステム構築のための支援(項目追加) 地場産品の掘り起こし、生産、販売までを行える仕組みづくりを構築し、地域の活性化に繋げる事業を展開するため。 20P 目(4)うれしの茶の資産振興と販路・需要開拓 【重要業績評価指標(KPI)】 海外販路開拓に向けた商談成立件数 目標値 50 件(KPI 修正) R3 までの実績は28件となり、目標値に達しているため上方修正。
--	-----	---

		21P 目(5) “うれしのブランド” づくりと稼ぐ農業の推進 【重要業績評価指標(KPI)】 “うれしのブランド” 野菜の作付面積 目標値 150a (KPI 修正) R3 年度実績 120a のため上方修正。 一旦ここで区切りを入れて質問を受け付けます。
	委員	10P(2) 観光まちづくりの推進・国際交流活動の推進のところですが、ユニバーサルデザインの表記は消えるのですか？
	事務局	修正という形で文言が変わることとなります。UD の表記は消えます。
	委員	もったいないなと言うのが一点と、UD の文言解説がいらなくなるのでは？
	事務局	具体的な施策の中で UD は残ります。観光戦略の基本施策として記載があります。基本方針の中に具体的な記載が無かったためこのように修正しています。
	委員	今まで数年間、市や旅館等もお金をかけてやってきて嬉野の売りの一つとなっていたと思う。色々な人が見る資料となればそこを推進してきたというものはどこか大きく残しておいた方が良いのでは？もったいないなというのは感じた。
	事務局	観光戦略の基本施策の中にはユニバーサルデザインの聖地を目指した環境整備といった記載もございます。なので作り方の問題だとは思いますが基本方針の中に UD の表記を残す修正の仕方もあると思います。
	議長	そもそもの考え方というか方針ですが、今回は改定ということでどこまで改定するのか？大きくは2つあり得ると思いますが、基本的には2020年に5年間の計画で作ったもので年々修正はするけども最低限の修正に止めるというもの。もう1つは今回なされている様に、観光戦略に記載されているものを反映させる。観光に関しては大幅な修正となっている。こういう事を年々やっていくといった考え方があると思う。どちらでやっていこうと考えてらっしゃるのか？
	事務局	以前 H29 年ぐらいに観光戦略は作られていましたが、その内容は現在の第2期総合戦略に反映されていると思うが、現状の事務局案としましては、観光戦略が新しく出来るのであれば、総合戦略と整合性をとっていきたいと考えています。
	議長	先ほど委員から発言があったとおり、がらっと文言が変わっている。総合戦略として策定したものをここまでしていいのかな？とも思う。以前に策定したものであれば整合性がとれていなくても良いのでは？
	事務局	総合戦略は総合戦略として。観光戦略は観光戦略として。といった考え方もできると思う。

議長	こういう風に修正した方が良いのではなかろうかといった提案は観光課から？
事務局	事業担当課から次年度以降に向けた計画等については吸い上げを行っています。そうした中で観光戦略を策定されたこともありまして総合戦略との整合を図るといった意味合いで観光戦略に寄せた案として提案しています。
委員	話がずれるかもしれませんが、観光戦略というものは総合戦略に基づいて考えるものではなくて観光戦略として考えたものに基本となるべき総合戦略が寄せていくのですか？極端な話例えば仮に総合戦略と観光戦略にズレが生じてきた場合、観光課が作った観光戦略に総合戦略が寄せていくのですか？総合戦略を作るという概念が根底から覆される気がするのですがいかがですか。 観光戦略ができたから変えますとかではなく、目標を達成したから上方修正しますとか、国の方針が少し変わったのでそれに合わせます等なら話は分かるがそこら辺はどうなんですかね？
事務局	おっしゃる通りかなと思う部分もありますが、観光戦略策定のタイミングでもあったので反映しましたが、案を作成している時にも全体的な修正になり悩ましい思いでした。今のところは整合を図る案でもってきていますが、総合計画が上位計画としてあって、総合戦略、その他各種計画があり枝分かれしているといったイメージが本来の姿かなと思います。
事務局	一番大本の計画として総合計画というものがあります。総合戦略と比べればもう少し大きな捉え方ではありますが、すべてを網羅するような形となっています。 観光戦略もコロナ禍にあってやろうとしていることは大幅に変わることはないのですが、注力する部分が変わるといったことはあると思います。その中で今後、総合戦略を基本として国の補助だったりを活用しながら色々な分野で施策を充実させていく中で、ある程度今やろうとしていることとの摺合せは必要となってきます。 今後やっていくべき事を考えたら合わせていく方がベターかなといった提案になっています。 大本は総合計画というものがあって総合計画を策定する上で総合戦略も作っていますし、観光戦略も作っている。総合戦略と観光戦略という意味ではそれが変わったら全部変えるのか？といった部分もありますが、今回はそういったことで提案をしております。
議長	あくまでこの文言は2年前に作ったものだといった立ち位置もあり得ると思うのですが、何か今後取り組む上で反映されてなければいけないというのは、それは新たに作った観光戦略に載っているのだからここに反映させる必要があるのかと思う。 変えるのは別に良いのだが、ほかの部門でも変えたいというのはあるのではないのか？と思う。観光だけこんなに大幅改定、アップデートする必要があるのか？改定に関するスタンスが統一されているのか疑問である。

事務局	以前担当させてもらっていた時は、新幹線の開業も控えており国の支援を受けながらやっていくということを考えた場合は具体的な施策の中に盛り込む必要がある。なのでアップデートしていく形が施策を進めていく上では必要なのかなというのがあります。 濃淡という部分では今回の改定の様なことも出てきますし、福祉計画も策定されていますし、一番上の部分は総合計画となりあまり変わらない部分となりますが、具体的な施策の部分に追加をするといった形が通常なのかなと言うのもあります。
委員	変更する幅とか、ルールをどこまで決めておくのかといったことだと思うが、時間の経過とともに2年、3年前に決めた事が予測できなかったので時点修正を行うといった共通認識はあると思うが、その範囲で止めるということで良いのでは。根本的に変えるのであれば、何のための計画なのということになると思う。
事務局	上の部分の記載はある程度残す。具体的な施策についてはアップデートしていく。
議長	基準値に関しては事務局として修正するのに抵抗があったわけで、そういったことと上の部分の記載についても同じなのかなと思う。
事務局	上の部分の記載とまったく真逆とかであれば検討の余地はあると思います。表現の違いといった部分もあると思う。
委員	表現の違いなのであれば変える必要がないのでは？上の部分でいけば行動の指針といったものであり私たちの中でもそうは変わらない部分である。具体的な施策の部分は、状況によって変えて良いと思う。こういったことを普通にやると柱の部分にズレが生じると思う。
事務局	担当課の思いもあると思うが、総合戦略の担当課として今回、協議いただいた内容を変更・改定のルールとして決めて判断していくこととします。
議長	数値の修正に関しては上方修正のみとなる？
事務局	到底達成できないと思われる数値でも下方修正はしない。
議長	コロナに関しての数値についても変更しなくて良いと思う。
事務局	人口減は非常に大きな社会問題であるが、人口統計 R3.10～R4.9の結果が出ていて、社会減を年間100人程度に抑えたいという目標がありますが、嬉野市は社会増のプラス58人となっています。その他は軒並みマイナスです。福岡のベッドタウンである佐賀県の東部地区はプラスであります。西部地区では唯一当市だけとなっています。
議長	要因として考えられる事がありますか？
事務局	移住の奨励金等が大きいと思う。近隣の市町から通勤の利便性等も考慮されて嬉野市を選んで来ていただけているのかなと思う。

議長	政策がもたらしたものであれば嬉しい話である。
事務局	11P の移住者数も上方修正ですが、移住支援のメニューもたくさんあるので必然的に支援をする方も増えるという形だと思う。
議長	また、これをきっかけに注目を浴びて関心を持たれていい流れになると良いですね。
事務局	大型のホテル等の開業も控えていますのでこれまでの流れを継続したいと思っています。
委員	携わっていることもあつてのことですが、ポイントカードについてです。将来的には市民カード的なところまで踏み込んで機能拡充を行えたらと思う。
事務局	個人的にはそういう市民カードだったり地域通貨等に繋げていくことは必要だと思う。現状では地域内での消費活動に関しての利便性の推進ということではある。市内での協力体制が作れないと普及も難しいとは思う。
事務局	<基本目標③>嬉野市で結婚・出産・子育てしたい“まち”をつくる以降について事務局より説明。 26P 目(3)安心して子どもを育てられる環境づくりの推進 【重要業績評価指標(KPI)】 病児保育事業 → 病児保育事業利用者数(KPI 名変更(追記)) 何の人数かわかりやすくするため指標名を変更。 ファミリー・サポート・センター事業 → ファミリー・サポート・センター事業利用者数(KPI 名変更(追記)) 上記と同じ理由により指標名を変更。 ファミリー・サポート・センター事業利用者数【重要業績評価指標(KPI)】 目標値 700 人/年(KPI 修正) R3 年度実績が 612 人/年。目標値を超えているため上方修正。 27P 目(4)特色ある教育の推進と確かな学力の育成 【重要業績評価指標(KPI)】 小中学校の ICT 環境整備(KPI 削除) R3 年度末までに整備率 100%を達成したため。 ※達成したから削除するのもおかしいので項目として残す。 31P 目(3)健康長寿のまちづくりの推進 【重要業績評価指標(KPI)】 特定保健指導受診率 目標値 61.2%以上(KPI 修正) 国が目指している目標値を設定していたが基準値以上とするのが妥当と判断し基準値と同数値とした。

	事務局	32P 目(4)誰もが元気で住み続けられるまちづくりの推進 【重要業績評価指標(KPI)】 「高齢者居場所づくり」による設置数 目標値 25 箇所 R4 の実績見込みが 20 箇所(予定)であり、目標に達するため上方修正。今後も設置に向けた支援を継続していく。 以上で説明を終わります。
	議長	質問はございませんか？後段は大きな変更は無かったように思います。小中学校の ICT 環境整備の件は私も残してよいと思います。 質疑無し。 閉会。 その他、R4 年度の効果検証については夏頃に開催を予定。 その際、嬉野温泉駅周辺の現地視察も計画したい。 デジ田総合戦略の改定は政策の柱部分が変わる可能性もあるため策定なのか改定なのかも含め協議をしたい。改定・策定のタイミングはそれほど無いので、できれば夏には協議に入っていきたいと考える。
その他	なし	

